

新しいブイ観測情報のお知らせ

浅海環境部 主任研究員 今井 美代子

陸奥湾には、1974年から自動観測ブイが設置され、毎時の観測データを取れるようになりました。

これにより、水温、塩分等の海の状況の変化を迅速にとらえることができるようになり、そのデータを活用してホタテガイ漁業等に役立ててきました。

特に、春先のホタテの産卵期には産卵遅れを引き起こす低水温に対する注意や一時的な水温の急上昇によって産卵刺激を受けた時期の把握、ホタテにダメージを与える夏場の高水温をとらえての注意報等に活用してきました。

また、東湾ブイでの海水の酸素量の観測によって、カレイ等の底魚類の斃死の原因が、海水中の酸素が極端に減少したためである可能性を突き止め、その後ただちに試験船による詳細な調査を実施するなど、海の状況変化の究明にも活用してきました。

ブイのシステムは平成16年10月に30年目を迎え、蓄積してきたデータも膨大なものになっています。

このブイシステムは、平成17、18年度の2ヶ年をかけて全面更新が決まり、平成18年3月からは、新しい青森ブイが第4代目としてすでに稼働しています。

続いて平館ブイ、東湾ブイも平成18年11月には稼働を開始することになっています。

また、青森ブイの稼働と同時に、データの受け取り側である増養殖研究所の基地局のシステムも新しくなりました。

これにより、観測情報お知らせのシステムが以下のように変わりました。

これまで毎時間の水温等をお知らせしていた**テレホンサービス**を停止し、**ケータイ**と**パソコン**で、毎時の観測値をリアルタイムでご覧いただけるようにしました。

新しいシステムでは、これまで蓄積してきたデータを活用して、平年値（1985年からの平均値）を自動計算し、グラフを自動作成する機能も追加されました。

これらの機能を利用して、毎時の観測値だけでなく、**ケータイ**では過去10日間の日平均水温と平年値との差がわかるグラフを、**パソコン**ではさらに10日間の毎時の水温のグラフもご覧いただけます。

水温は、時期によっては、一日のうちでも変動がかなり大きいこともありますので、これまでわかりづらかった陸奥湾の入り口での水温変化（湾の外からの水の流入や、湾内からの逆流の様子）も、わかっていただけなのではと思います。

新ブイシステムでの**ケータイ**、**パソコン**での閲覧方法をご紹介します。

まず、**ケータイ**では、次頁のアドレスを打ち込んでいただくか、またはQRコードを読み取っていただくと、**A**のトップ画面につながります。これを、ブックマークで登録していただくと、次回からは簡単につながります。

そこからご覧になりたいブイを選択していただくと、**B**のようなブイごとの最新観測データの画面になり、ここで1m～底層のいずれかの観測層を選んでいただくと、**C**の過去10日間の日平均水温と平年値とのグラフまでご覧いただけます。

ケータイの通信料は有料ですが、情報利用料は無料です。

次に、**パソコン**では、次頁のアドレスを打ち込んでいただくか、Yahooなどで「陸奥湾海況自動観測システム」と入力して検索していただくと、まずトップ画面となります。

画面上部の**メニュー**から、**最新観測データ**を選択していただくと、**D**の画面となります。また、**グラフ**を選択していただき、水温、塩分等を選んでいただくと**E**のような過去10日間の毎時観測値のグラフをみていただけます。

このようにデータの取得方法が、より迅速に、また簡単になりましたので、せっかくのシステムが宝の持ち腐れにならないように、皆様におおいに活用していただきたいと思います。

